

17496

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千六百七十七號

昭和十九年五月一日(月)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房備機密第二五五號

海軍軍機電報濫發戒飾ノ件ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年四月二十七日

海 軍 大 臣

(参照) 内令提要卷二、六四五頁

官房需第一一八號

昭和十六年官房第六七七五號中「氷」ノ下ニ「竹皮(代用品適宜)、割箸、旅行案内、藁繩、蒸」ヲ加フ

昭和十九年四月二十七日

海 軍 大 臣

(参照) 經營需品燃料取扱例規二九八ノ四頁

官房醫第六四號

自今海軍豫備學生生徒、海軍生徒、下士官又ハ兵ニシテ軍醫科士官ニ於テ眼鏡裝用ヲ要スト認ムルモノアル

海軍公報(部内限) 第四千六百七十七號

昭和十九年五月一日

六二二

トキハ之ヲ官給ト爲スコトヲ得

之ヲ給與其ノ他ノ取扱ニ關シテハ海軍省醫務局長及海軍省經理局長ヲシテ之ヲ定メシム

昭和十九年四月二十七日

海 軍 大 臣

官房備第七二號

昭和十七年官房第五一四二號中左ノ通改正ス

昭和十九年四月二十八日

海 軍 大 臣

第三號ヲ左ノ如ク改メ第四號ヲ削ル

三 命令ノ特設應トハ海軍民政府、海軍民政部、マ

カツサル研究所、海南海軍特務部、特設海軍航路

部、特設海軍經理部、特設海軍施設部、特設海軍

軍需部、特設海軍工作部、特設海軍建設部、特設

海軍航空廠、特設海軍燃料廠、特設海軍病院、特

設海軍氣象部、特設海軍運輸部、特設設營隊、特

設特別工作部、特設防疫班及工作艦トス

1899

(参照) 昭和十七年官房第五一四一號(諸例則卷三、九六四ノ五頁)

官房機密第五三四號

昭和十五年官房機密第八一七四號中左ノ通改正ス

昭和十九年四月二十八日

海、軍、大、臣

第一號契約擔任官及契約擔任地域區分中第四海軍經理部長ノ項契約擔任地域ノ欄「南洋群島」ヲ「南洋群島(サイパン島及バラオ島ヲ含マズ)」ニ改メ同項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

第四海軍經理部サイパン支部長 サイパン島

第四海軍經理部バラオ支部長 バラオ島

(参照) 機密會計法規類集三四六ノ一一

官房機密第五三五號

昭和十五年官房機密第八一七〇號中左ノ通改正ス

昭和十九年四月二十八日

海、軍、大、臣

第四海軍經理部長ノ項ヲ左ノ如ク改ム

第四海軍經理部長	第四海軍經理部部長	第四海軍經理部部長	南洋群島(サイパン島及バラオ島ヲ含マズ)
第四海軍經理部部長	サイパン島	バラオ島	

(参照) 機密會計法規類集二二六頁

官房機密第七三號

當分ノ間左ノ上欄ノ者ノ採用身體検査ニ於ケル視力ニ付テハ海軍志願者身體検査規則又ハ海軍身體検査規則ニ定ムル規格ニ拘ラズ各下欄ニ該當スル者ハ之ヲ合格ト爲スコトヲ得

昭和十九年五月一日

海、軍、大、臣

機關科豫備練習生、飛行機整備術、兵器整備術、機關術、内火術、電機術及工作術練習生

電信術、暗號術、軍樂術、看護術、經理術及衣糧術練習

各眼視力〇・六以上ニシテ矯正視力一・〇以上ノ者

各眼視力〇・二以上ニ

1900

習生、測量術、氣象術、通信術甲種、通信術乙種、電測術、整備術甲種及整備術乙種豫備練習生

シテ矯正視力一〇以上ノ者

○ 通 牒

醫第五八五號

昭和十九年四月二十七日

海軍省醫務局長
海軍省經理局長

關係各廳長殿

自今海軍豫備學生生徒、海軍生徒、下士官又ハ兵ニシテ軍醫科士官ニ於テ眼鏡裝用ヲ要スト認ムルモノアルトキハ之ヲ給與スルコトヲ得ルコトニ定メラレ候ニ付テハ之ガ給與其他ノ取扱ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依リ實施ノコトニ了知相成度

記

一 眼鏡ノ給與ハ概ネ一人一回限リ一個トスルモ視力變化シ軍醫科士官ニ於テ特ニ更新ヲ要スト認メタルモノアルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二 眼鏡ノ給與ヲ受ケントスル者ハ各所轄長ヲ經テ海軍病院長（海軍軍醫學校長）ニ申出デ之ガ處方ハ海軍病院（海軍軍醫學校）ニ於テ之ヲ作製ス

三 海軍病院（海軍軍醫學校）ニ於テ眼鏡ノ給與ヲ受ケントスル患者ヲ診療シタルトキハ之ニ眼鏡給與證明書及眼鏡處方ヲ交付ス

四 海軍病院兵備品會計官吏ハ前條ノ眼鏡給與證明書及眼鏡處方ニ基キ眼鏡ヲ作製ノ上之ヲ本人ニ給與ス

五 海軍病院兵備品會計官吏ハ眼鏡ノ給與ニ際シテハ所轄長發行ノ眼鏡使用許可證ニ眼鏡給與ノ記事及給與年月日ヲ記入スルモノトス

○ 辭 令

第十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス 事務員 水本 良治

第四十一海軍軍用郵便所員ヲ免ス 同 中村 勝次

（各通） 通信書記 杉野 芳治

第二十三海軍軍用郵便所員ヲ免ス（以上三所屬海軍省） 同 横田 龍造

遞信局事務官 藤枝 旗一郎
東京海軍通信隊附ヲ免ス(海軍省)

(各通)

通信書記補 小野 一郎
遞信手 木内 省三

第三十八海軍軍用郵便所員ヲ免ス(海軍省)

(各通)

事務員 榊原 信義
同 伊藤 孝一

第四十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス

同 宇都木 春一

第四十三海軍軍用郵便所員ヲ免ス

通信書記 谷澤 利一

東京海軍通信隊附ヲ免ス(以上海軍省)

(各通)

通信書記補 山下 辯二
事務員 市川 兼吉

第十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス(海軍省)

事務員 中本 勝巳

第十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス

通信書記 湯澤 常紀

東京海軍通信隊附ヲ免ス(海軍省)

休職海軍技手 坂田 芳美

依願免本官(海軍省)

海軍軍醫中佐 清原 蕃卿

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍依託學生生徒志願者身體検査委員ヲ命ス

海軍豫備學生採用身體検査委員ヲ命ス

海軍豫備練習生採用身體検査委員ヲ命ス

海軍豫備員候補者採用試験委員ヲ命ス

靖國神社合祀審査委員會委員ヲ命ス(海軍省)

海軍主計大尉 柄内 一彦

第三課勤務ヲ命ス(海軍省兵備局)

海軍主計中尉 土田 新一

南京在勤海軍武官府國防獻金、恤兵金、學藝技術獎

勵金分任出納官吏ヲ命ス(海軍省經理局)

同 戸田 信也

横須賀海軍經理部名古屋支部國防獻金、恤兵金、學

藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計大尉 山本 正三

横須賀海軍經理部名古屋支部國防獻金、恤兵金、學

藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ免ス(以上同)

1902

習生、測量術、氣象術、通信術甲種、通信術乙種、電術、整備術甲種及整備術乙種豫備練習生

シテ矯正視力一・〇以上ノ者

○通牒

醫第五八五號

昭和十九年四月二十七日

海軍省醫務局長
海軍省經理局長

關係各廳長殿

眼鏡給與ニ關スル件通牒

海軍豫備學生生徒、海軍生徒、下士官又ハ兵ニシテ軍醫科士官ニ於テ眼鏡裝用ヲ要スト認ムルモノアルハ之ヲ給與スルコトヲ得ルコトニ定メラレ候ニ付テハ之ガ給與其他ノ取扱ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依リ實施ノコトニ了知相成度

記

一、眼鏡ノ給與ハ概ネ一人一回限リ一個トスルモ視力變化シ軍醫科士官ニ於テ特ニ更新ヲ要スト認メタル

(前送ノモノト引換舊紙燻却相成度)

- 一、モノアルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 二、眼鏡ノ給與ヲ受ケントスル者ハ各所轄長ヲ經テ海軍病院長(海軍軍醫學校長)ニ申出デ之ガ處方ハ海軍病院(海軍軍醫學校)ニ於テ之ヲ作製ス
- 三、海軍病院(海軍軍醫學校)ニ於テ眼鏡ノ給與ヲ受ケントスル患者ヲ診療シタルトキハ之ニ眼鏡給與證明書及眼鏡處方ヲ交付ス
- 四、海軍病院兵備品會計官吏ハ前條ノ眼鏡給與證明書及眼鏡處方ニ基キ眼鏡ヲ作製ノ上之ヲ本人ニ給與ス
- 五、海軍病院兵備品會計官吏ハ眼鏡ノ給與ニ際シテハ所轄長發行ノ眼鏡使用許可證ニ眼鏡給與ノ記事及給與年月日ヲ記入スルモノトス

○辭令

- 第十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス 事務員 水本 良治
- 第四十一海軍軍用郵便所員ヲ免ス 同 中村 勝次
- (各通) 通信書記 杉野 芳治
- 同 横田 龍造
- 第二十三海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上三十五日海軍省)

海軍公報(部内限)第四千六百七十七號 昭和十九年五月一日

六二三

1903

遞信局事務官 藤枝旗一郎
東京海軍通信隊附ヲ免ス(七〇〇海軍省)

(各通)

通信書記補 小野 一郎
遞信手 木内 省三

第三十八海軍軍用郵便所員ヲ免ス(四〇〇海軍省)

(各通)

事務員 榊原 信義
同 伊藤 孝一

第四十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス

同 宇都木 春一

第四十三海軍軍用郵便所員ヲ免ス

通信書記 谷澤 利一

東京海軍通信隊附ヲ免ス(以上三〇〇海軍省)

(各通)

通信書記補 山下 辯二
事務員 市川 兼吉

第十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス(三〇〇海軍省)

事務員 中本 勝巳

第十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス

通信書記 湯澤 常紀

東京海軍通信隊附ヲ免ス(二五〇海軍省)

休職海軍技手 坂田 芳美

依願免本官(二五〇海軍省)

海軍軍醫中佐 清原 蕃卿

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍依託學生生徒志願者身體検査委員ヲ命ス

海軍豫備學生採用身體検査委員ヲ命ス

海軍豫備練習生採用身體検査委員ヲ命ス

海軍豫備員候補者採用試験委員ヲ命ス

靖國神社合祀審査委員會委員ヲ命ス(三〇〇海軍省)

海軍主計大尉 枅内 一彦

第三課勤務ヲ命ス(一〇〇海軍省兵備局)

海軍主計中尉 土田 新一

南京在勤海軍武官府國防獻金、恤兵金、學藝技術獎

勵金分任出納官吏ヲ命ス(八〇〇海軍省經理局)

同 戸田 信也

横須賀海軍經理部名古屋支部國防獻金、恤兵金、學

藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計大尉 山本 正三

横須賀海軍經理部名古屋支部國防獻金、恤兵金、學

藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ免ス(以上三〇〇同)

1904

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
第十八驅逐隊司令ハ四月二十二日司令驅逐艦ヲ不知火ニ變更セリ
(第十八驅逐隊)

○ 試驗問題發送

普通科看護術特技章付與第三回銓衡試驗問題

(銓衡試驗期日昭和十九年六月十四日)

右四月二十二日左記ノ通發送濟未着又ハ別ニ必要ノ向ハ至急通知相成度

記

一 聯合試驗參加各部ノ分ハ横須賀海軍人事部長宛送付

二 單獨試驗施行ノ所轄ヘハ直送

三 聯合試驗參加豫定ノ所轄ニテ豫定變更ノ爲聯合試驗不能ノ向ニ對スル分トシテ横須賀海軍人事部長宛若干部送付
(横須賀海軍病院)

○ 人員輸送ニ關スル件

事務處理上必要ニ付當分ノ問海上運輸規程第七條ニ依ル人員輸送請求票ニ附スベキ人名表摘要欄ニ軍人ニ在リテハ兵籍番號(電報符)軍屬ハ本籍地、生年月日ヲ

夫々附記ノコトニ取計相成度
(吳海軍運輸部)

○ 書類再送ニ關スル件照會

自昭和十八年十一月一日當隊宛發送濟ノ書類ハ事故ノ爲未至昭和十九年二月十日到達ニ付再發送相成度
(第六十六警備隊)

○ 辭令公報發送ノ件

昭和十九年度前期下士官任用進級辭令公報

右外戰部隊ニ對シテハ三月三十一日發送濟

追テ未到達ノ向ハ最寄艦隊司令部、根據地隊司令部、補充部其ノ他陸上各部ニツキ調査ノコトトシ電報照會ハ已ムヲ得ザルモノノ外避クル様致度
(舞鶴鎮守府)

○ 應急戰訓資料ノ件照會

近來被害艦船ヨリ送付ノ戰訓詳報殊ニ遭難事故報告ニ記載セラルル被害直後ノ應急處置並ニ戰訓所見等ハ簡單ニ過ギ爾後ノ參考ニ資スル所尠キモノアリ實被害ニ對シ實施セル各種應急處置並ニ之ニ依リ得タル戰訓及所見ハ再ビ得難キ好資料ナルヲ以テ最大洩ラズ集録セラルル様配慮ヲ得度
情況ニ依リテハ生存者等ニ就キ聽取セル斷片の所見ノミニテモ送付ヲ得度
(海軍航海學校)

○書類移管

當隊三月三十一日附第十八驅逐隊ト改編ニ付各部ヨリ
第九驅逐隊ニ配布中ノ軍機、軍極祕書類ハ總テ第十八
驅逐隊ニ移管致候條了知ノ上處理相成度

(第九驅逐隊)

○轉勤者赴任先

第二六五海軍航空隊ヘノ轉勤者ハ自今千葉縣匝瑺郡共
和村香取航空基地ニ向ケ轉勤セシメラレ度(總武本線
千潟驛下車)

(第六十二航空戰隊)

○集會所設置

佐世保水交社人吉集會所ハ四月十二日人吉海軍航空隊
内ニ集會所ヲ設置セリ

(佐世保水交社)

○事務開始

築城海軍航空隊ハ四月十五日福岡縣築上郡築城村同隊
内ニ於テ事務ヲ開始セリ

第六十一號驅潛艇艦裝具事務所ハ四月十八日株式會社
新潟鐵工所新潟工場内ニ於テ事務ヲ開始セリ

驅逐艦竹籬裝具事務所ハ横須賀海軍工廠内ニ於テ四月
二十日事務ヲ開始セリ

伊號第三六一潛水艦艦裝具事務所ハ四月二十日吳海軍
工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ
(電話番號吳工廠三七五九番)

○事務所移轉

第二十四魚雷調整班ハ四月二十日木更津海軍航空基地
ニ移轉セリ

1906

海軍公報 (部内限) 第四千六百七十八號

昭和十九年五月二日(火) 海軍大臣官房

○令 達

官房經第四二三號

昭和十七年官房第五三一九號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月一日

海軍大臣

第三號中「軌道賃」ヲ削リ「七種」ヲ「六種」ニ改

ム

第四號ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ旅費ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

(参照) 海軍機密會計法規類集一三〇ノ八二頁

官房經機密第五四三號

損害補償及慰籍内規外一件中左ノ通改正ス

昭和十九年五月一日

海軍大臣

一 損害補償及慰籍内規中左ノ通改正ス

第六條第五號中「軍事費」ヲ「臨時軍事費」ニ改ム

第七條第一項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ第三條第三號(ロ)又ハ(ハ)ニ該當スル場合ハ戶籍

謄本ノ添附ヲ要セズ

第九條中「報告」ノ下ニ「(六月及十二月ニ於テ前六

月分ヲ取纏ムルコトヲ得)」ヲ加フ

二 公金類損害補償内規中左ノ通改正ス

第六條中「雜費」ヲ「諸支出金」ニ改ム

第八條中「竝ニ前條ニ依ル上申書寫ヲ添附シ」ヲ

「ヲ」ニ改メ「報告」ノ下ニ「(六月及十二月ニ於テ

前六月分ヲ取纏ムルコトヲ得)」ヲ加フ

(参照) 損害補償及慰籍内規(海軍機密會計法規類集一〇九頁)

公金類損害補償内規(海軍機密會計法規類集一一二頁)

○辭 令

明石工作部附海軍技手 山田 政次郎

(各道) 浦上丸工作部附海軍技手 長 嶋 秋

同 角田 隆吉

横須賀海軍工廠勤務ヲ命ス

海軍公報(部内限) 第四千六百七十八號

昭和十九年五月二日

六二七

1907

舞鶴海軍工廠勤務ヲ命ス	同	山田 藤太郎
明石工作部附海軍技手	同	木原 興四郎
(各通)	浦上丸工作部附海軍技手	濱本 丈太郎
同	同	山本 佐市
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	池田 要太郎
(各通)	同	古閑 新三
佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス	同	菅江 幸男
(各通)	明石工作部附海軍技手	江崎 親教
廣海軍工廠勤務ヲ命ス(以上三工廠海軍省)	海軍警部	菊地 三三郎
(各通)	同	當 住 男
同	同	石井 寅治
給六級俸	同	峯岸 幸男
給月俸七拾圓(以上三工廠海軍省)	海軍技手	赤松 精治
同	同	鈴木 昌訓
同	同	佐藤 幸一郎
(各通)	同	井上 重二
同	同	西 壽夫
同	同	中村 重庸
同	同	麻生 庄吾
同	同	鳥越 操
同	同	小山 柳三
同	同	田中 堯
同	同	地京 正信
同	同	山崎 太
同	同	岡村清左衛門
同	同	中山 富茂
依願免本官(以上三工廠海軍省)	東京帝國大學助教授	中山 正章
海南海軍特務部ニ於ケル業務囑託ノ報酬トシテ金參百六拾圓ヲ贈與ス	同	
海南海軍特務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(昭和十八年海軍省)	同	
(各)	千五百六拾圓	喜久丸船長 利田 秀吉
(通)	千七百四拾圓	同 機關長 濱岡 龜市
囑託(部内限奏任官待遇)ヲ命シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給ス(昭和十八年同)	同	

1908

越後 基勝
賜託（軍屬船員）ヲ命シ部内限奏任官待遇トス（三三〇同）

岡部 毅
第四艦隊事務囑託ヲ解キ第五海軍建設部グアム支部事務ヲ囑託ス（報酬如故）（三三〇同）

伊藤 主税
松山海軍航空隊柔道教授囑託ヲ解ク（三三〇同）

得丸 武彦
大分海軍航空隊剣道教師囑託ヲ解ク

海軍省人事局事務兼南西方面艦隊事務囑託

能美 留壽

兼南西方面艦隊事務囑託ヲ解キ報酬年額千六百五拾圓ヲ給ス（待遇如故）

小松 正光

第八海軍建設部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク（以上三同）

室松 克雄

海軍航空技術廠工員養成所教務囑託ヲ解ク（三三〇同）

西本 イツノ

廣海軍工廠海軍共済組合醫療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

黄流海軍航空隊齒科治療業務囑託

大月 的

海南海軍病院齒科治療業務ヲ囑託ス

澤田 五郎

ジャカルタ在勤海軍武官室ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

鈴木 寛

横須賀海軍運輸部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

神保 成吉

海軍航空技術廠支廠研究業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千五百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

久保 亮一

海軍航空技術廠支廠研究業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

中村 末美

海軍對潛學校事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額九百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

松井 宗四郎

吳海軍施設部事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額九百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

海軍艦政本部、横須賀海軍工廠及海軍航空技術廠研究業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

菅沼 邦松

(各通)

大森 憲太
原 實

第一海軍衣糧廠研究業務ヲ囑託ス

高田 義定

但シ報酬年額參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

廣海軍工廠共濟物資部事務ヲ囑託ス

廣海軍工廠研究業務囑託

葛西 泰二郎

自今報酬年額千六百圓ヲ贈與ス(以上 同)

北住 重藏

海軍兵學校ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(同)

菅原 東助

海軍軍醫學校業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

安藤 正彬

第一海軍衣糧廠研究業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上 同)

海軍主計兵曹長 吉永 爲雅

第十一特別根據地隊海防派遣隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(同) 支官海軍省經理局長)

海軍主計少尉 増田 勉

驅逐艦朝風ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中尉 村木 杉太郎

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上 同)

同 藤岡 英夫

第二五一海軍航空隊RR隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(同)

海軍主計中佐 大久保 謙吉

第一〇一海軍經理部ヘナン支部國防献金、恤兵金、學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

同 德永 春雄

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上 同)

同 酒井 義夫

第三課勤務ヲ命ス(同) 海軍省經理局)

同

同

同

同

同

1910

○ 雜 款

○普通科各種特修兵銓衡試驗問題送付ニ關スル件
當隊二月一日開隊ニ付首題ノ件各一通左記宛送付ヲ得
度

記

第五十二警備隊武藏本隊 横須賀局氣付

同 播鉢派遣隊 同 ヲ壹貳六ヲ參四〇

同 加熊別派遣隊 同 ヲ壹貳八ヲ參四〇

同 同 同 ヲ貳貳貳
同 同 同 ヲ壹貳九ヲ參四〇
同 同 同 ヲ貳貳貳
(第五十二警備隊)

○試驗問題發送

普通科砲術特技章附與第三回銓衡試驗問題

一 掌砲兵 陸上對空班

試驗期日 昭和十九年六月十三日(火)

右四月二十日左記ノ通發送濟、未着及別ニ必要ノ向ハ
最寄海軍人事部、警備府又ハ館山海軍砲術學校へ至急
通知相成度

記

一 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部、各警備府宛送
付

二 單獨試驗施行豫定ノ所轄ニハ直送
三 聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲
聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記宛單獨
試驗用問題若干送付濟
(館山海軍砲術學校)

○事務所移轉

沼津海軍工作學校(假稱)設立準備事務所ハ四月二十
五日静岡縣駿東郡清水村ニ移轉セリ

○事務開始

吳海軍經理部別府支部ハ五月一日別府市秋葉通一丁目
ニ於テ事務ヲ開始セリ

佐世保海軍經理部鹿兒島支部ハ五月一日鹿兒島市東千
石町一六番地ニ於テ開應事務ヲ開始セリ

○削除

四月十五日附公報(部内限)辭令欄五四五頁上段十五
行目「進藤健三」ノ辭令ハ削除

○取消

四月二十四日公報(部内限)第四百六百七十三號五九
七頁辭令中「明石工作部附海軍技手水町虎作」ノ辭令
文ハ取消

1911

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千六百七十九號

海軍大臣官房

昭和十九年五月三日(水)

○令 達

官房經機密第五七一號

當分ノ間内令第五百五十八號ニ依ル特設海軍氣象部ニ
屬スル經費ハ歲入徵收官、支出官ヲ海軍省經理局長ト
シ收入官吏、資金前渡官吏ヲ海軍氣象部員タル主計
科士官トス

附 則

本令ハ昭和十九年四月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年四月二十八日

海 軍 大 臣

官房經機密第五七二號

官房經機密第五七一號ノ規定ニ拘ラズ本年四月中ノ特
設海軍氣象部ニ屬スル經費ハ歲入徵收官、支出官ヲ水
路部長トシ其ノ支辨科目ヲ水路部ト同一科目ト爲スコ
トヲ得

附 則

海軍公報(部内限) 第四千六百七十九號

昭和十九年五月三日

六三三

本令ハ昭和十九年四月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年四月二十八日

海 軍 大 臣

官房經機密第五八五號

昭和十五年官房機密第八一七二號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二日

海 軍 大 臣

特設海軍病院ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

特設海軍氣象部

所掌經費支辨事項

會計課長

(參照) 機密會計法規類集二四六ノ一〇頁

官房經機密第五八六號

昭和十五年官房機密第八一七一號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二日

海 軍 大 臣

特設海軍氣象部ノ項ヲ左ノ如ク改ム

特設海軍氣象部 會計課長 主計科士官タル部員

(参照) 機密會計法規類集二一五頁

官房軍第五二一號

海軍被徵用者表彰中央審査委員會規程左ノ通定ム

昭和十九年五月二日

海 軍 大 臣

海軍被徵用者表彰中央審査委員會規程

第一條 本委員會ハ被徵用者表彰規程第二條ノ規定ニ依リ海軍大臣ノ表彰ヲ受クベキ者ノ詮衡及審査竝ニ應徵有功章ヲ返納スベキ者ノ審査ヲ行フ

第二條 本委員會ハ委員長、委員及幹事ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長 兵備局長

委員 軍務局、軍需局及醫務局ノ第一課長、兵備局第四課長、人事局及經理局ノ第二課長、

艦政本部總務部第一課長及第四課長、航空本部總務部及第一部ノ第一課長、施設本部

總務部第一課長、運輸本部總務課長、

兵備局第四課及人事局第二課ノ局員各一名

委員兼幹事

第三條 本委員會ハ必要ノ都度開催スルモノトス
第四條 委員長ハ本委員會ノ決定ニ基キ表彰ヲ受クベキ者又ハ應徵有功章ヲ返納セシムベキ者ニ付理由ヲ具シ海軍大臣ニ報告スベシ

○ 通 牒

海人三第二號ノ三四

昭和十九年五月二日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

現役軍人ノ婚姻ニ關スル件申改正ノ件

通知

昭和十八年海人第三〇號ノ二〇九申進ノ首題ノ件中左記ノ通改正セラレ候

記

「特務士官及准士官」ヲ削リ「又ハ在籍鎮守府司令長官ニ進達又ハ移牒」ヲ「ニ進達」ニ改ム

(諸例則卷三、三三三ノ三頁参照)

○ 辭 令

海軍屬兼海軍書記 矢野 正
 文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス
 (以上三月海軍省)

第百二海軍燃料廠附海軍技手 福田 芳雄

佐世保海軍工廠附ヲ命ス

同 諸石 初一

佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス

南東方面海軍航空廠附海軍技手 藤田 三郎

海軍航空技術廠支廠勤務ヲ命ス

海軍艦政本部勤務兼造兵監督書記海軍書記 濱崎 肇

吳海軍工廠附ヲ命ス

海軍運輸本部附海軍書記 横江 徳一

舞鶴海軍施設部勤務ヲ命ス

海軍艦政本部勤務兼造船監督助手海軍技手 西村 庄之助

舞鶴海軍工廠勤務ヲ命ス(以上五月海軍省)

海軍中尉 岡田 秀健

修技所勤務ヲ命ス(三月水路部)

○ 雜 款

○機密圖書配布應名變更ノ件

四月十日附佐世保防備戰隊解隊トナリ第四海上護衛隊編制セラレタル處現在各應ヨリ前佐世保防備戰隊司令部ニ配布シアル機密圖書ハ第四海上護衛隊司令部ニ配布セルモノトシ應名變更相成度 (第四海上護衛隊司令部)

○開隊

岡崎海軍航空隊ハ四月一日開隊セラレ同隊ニ派遣隊(舊河和空岡崎分遣隊)ヲ設置セリ 追テ旅行順路ハ左ニ依ラレ度

岡崎海軍航空隊	(イ) 横須賀、東京方面ヨリノ場合 省線豊橋驛下車名古屋鐵道豊橋線ニ乗換宇頭驛下車徒歩約二十分(二・二軒)
(舊假稱第二岡崎空)	(ロ) 名古屋方面ヨリノ場合 省線岡崎驛下車名古屋鐵道市内線ニ乗換東岡崎驛前下車豊橋線ニ乗換宇頭驛下車(二・二軒)
同 上郷派遣隊	省線岡崎驛下車驛前ニテ名古屋鐵道岡崎市內線ニ乗換岡崎線岩津驛下車徒歩約四十分(三・三軒)
(舊河和空岡崎分遣隊)	

(第十八聯合航空隊司令部)

<p>○事務開始 伊號第十三潜水艦艇裝員事務所ハ四月二十五日神戸川崎造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ</p>	<p>海軍航海學校霞ヶ浦分校(假稱)設立準備事務所ハ四月十日横須賀市海軍航海學校内ニ於テ事務ヲ開始セリ 電話 海軍電話(横須賀交換) 二三一八番 市内電話(横須賀局) 九二四番</p>	<p>伊號第四十七潜水艦艇裝員事務所ハ四月十一日佐世保海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ</p>	<p>第五十五號驅潜艇艇裝員事務所ハ四月二十日函館市辨天町八八番地函館船渠株式會社内ニ於テ事務ヲ開始セリ</p>	<p>○廳舎移轉 第一海上護衛隊司令部ハ四月二十三日新廳舎(高雄州高雄市榮町二丁目十六番地)ニ移轉セリ</p>	<p>○殘務整理 特務艦大瀬殘務整理ハ四月二十五日舞鶴鎮守府艦船部隊殘務整理班ニ於テ之ヲ行フ</p>	<p>○本日普通公報發行セズ</p>
--	--	--	--	---	--	--------------------

海軍公報(部内限)第四百六百七十九號 昭和十九年五月三日

六三九

1918

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千六百八十號

昭和十九年五月四日(木)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房經第四二一號

海軍購買名簿中別紙ノ通改正ス

別紙ハ海軍省經理局長ヲシテ必要ノ向ニ配付セシム

昭和十九年五月一日

海軍大臣

官房經機密第五四二號

臨時海軍購買名簿中別紙ノ通改正ス

別紙ハ海軍省經理局長ヲシテ必要ノ向ニ配付セシム

昭和十九年五月一日

海軍大臣

官房需機密第一五六號

當分ノ間特設船舶警戒部ニ於ケル兵員訓練竝ニ船舶配乗ニ關スル部務遂行上必要ナル物品ニシテ急速調達困難ナル場合ニ限リ海軍軍需部在庫ノ艦營需品竝ニ燃料ヲ繰替供給スルコトヲ得

補填費目ハ臨時軍事費、臨時軍事費、廳費、備品消耗品費トス

昭和十九年五月三日

海軍大臣

官房需機密第一五七號

在外海軍部隊艦船臨時給與令施行細則第七條ノ二ノ規定ニ依リ支給スル石炭(木炭、薪等ヲ含ム)ハ兵備品ヲ支給スルコトヲ得此ノ場合ニハ其ノ都度領收證ヲ徴シ消耗拂トシテ整理スルモノトス
本令ハ昭和十九年一月十二日以降ノ給與ニ付之ヲ適用ス

昭和十九年五月三日

海軍大臣

(參照) 海軍會計法規類集 二卷 八〇八頁ノ四

官房人機密第一〇七二號

横須賀鎮守府司令長官ハ左ノ各號ニ依リ氣象術豫備練

海軍公報(部内限) 第四千六百八十號

昭和十九年五月四日

六四一

1919

習生ヲ採用スベシ

昭和十九年五月三日

海軍大臣

一 採用範圍

中學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シ水路部修技所普通科ニ於テ氣象分科ノ課程ヲ修了シタル者

二 身體検査及口頭試問ノ期日及場所

(イ) 期 日

昭和十九年五月十日

(ロ) 場 所

海軍航海學校

三 採用員數

二八名以内

四 入校期日及場所

昭和十九年五月十日海軍航海學校ニ入校ノ豫定

五 兵籍及身分取扱

兵籍ハ横須賀鎮守府ニ置キ其ノ身分ハ海軍一等兵ニ準ズ

六 雜 件

教育任用及召集ニ關シテハ別ニ定ム

○ 通 牒

海人三第二號ノ三〇

昭和十九年四月二十八日

海軍省人事局長

各海軍人事部長殿

技術科下士官ニ任用セラレタル者ノ履歴表及考課調査表調製ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シテハ海軍下士官兵履歴表竝ニ考課調査表取扱及記註心得ニ依ルノ外海軍ノ雇員又ハ工員ニ採用以降ノ關係事項ヲモ同記註心得ニ準ジ記註スル義ト了相成度

海人三第二號ノ三五

昭和十九年五月四日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

海軍兵ヨリ採用セラレタル海軍見習尉官、海軍豫備學生又ハ海軍豫備生徒ニシテ其ノ身分ヲ免セラレタルモノノ取扱ニ關スル件申進

首題ノ件左記ニ依リ處理スルコトニ定メラレ候

1920

記

一 海軍兵ヨリ採用セラレタル海軍見習尉官、海軍豫備學生又ハ海軍豫備生徒ニシテ其ノ身分ヲ免ゼラレタルモノハ前ニ免ゼラレタル兵ノ身分ニ復シ在籍鎮守府ノ海兵團ニ補缺員トシテ入團又ハ送籍ス但シ疾病等ノ爲新兵教育未了ノ者ニ對シテハ必要ニ應ジ適宜ノ期間新兵教育ニ準ズル基礎教育ヲ行フモノトス前項ニ依リ兵ノ身分ニ復シタル者ニシテ當初ヨリ海軍見習尉官、海軍豫備學生又ハ海軍豫備生徒ニ採用セラレザリシ場合ニ於テハ既ニ進級シ得ベカリシモノト認ムルモノナルトキハ海兵團長ハ在籍鎮守府司令長官ノ認許ヲ受ケ兵ノ身分ニ復シタル際一階級上級ノ職階ニ進級セシムルト共ニ次期進級ニ際シテハ實役停年ニ關スル規定ニ拘ラズ同期入團ノ他ノ者ト同様ニ取扱フコトヲ得

二 前號ノ場合ニ於テ兵ノ身分ニ復シタル者疾病其ノ他身體又ハ精神ノ異常ニ因リ轉役又ハ兵役免除ヲ至當トスルモノナルトキハ當該所轄長（海軍病院ニ入院中ノ者ナルトキハ病院長）ハ之ヲ在籍鎮守府司令長官ニ具申スルト共ニ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團（海軍病院ニ入院中ノ者ナルトキハ入院中ノ儘送籍）

セシムルモノトス

三 第一號第一項ニ依リ兵ノ身分ニ復スル者ノ中第一期下士官候補者採用豫定ノモノハ海兵團ニ入團セシムルコトナク直接新教育廳ニ入廳セシムルモノトス

○ 感 狀

感 狀

伊號第二十七潜水艦

昭和十八年五月上旬ヨリ同年十二月中旬ニ亘ル間ノ印度洋交通破壊戰ニ於テ敵船十隻撃沈二隻撃破ノ戰果ヲ收ムルト共ニ敵船舶運航ノ狀況ヲ詳ニスル等印度洋方面作戦ニ寄與セル所大ニシテ其ノ功績顯著ナリト認ム仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十九年三月一日

聯合艦隊司令長官 古賀 峯一

感 狀

伊號第三十八潜水艦

昭和十八年五月下旬ヨリ同年十二月下旬ニ至ル期間東部「ニューギニア」及「ソロモン」諸島方面ニ於テ反覆輸送作戦ニ從事シ敵飛行機、魚雷艇等ノ跳梁下幾多

ノ困難ヲ克服シテ輸送ノ實績ヲ擧ゲ前線戦力ノ維持ニ
寄與セル所極メテ大ニシテ其ノ功績顯著ナリト認め
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十九年三月一日

聯合艦隊司令長官 古賀 峯一

○ 辭 令

○昭和十九年四月三十日

海軍録事兼海軍屬 大野 六之丞

兼任海軍書記

○昭和十九年五月一日

(各通)

任海軍技手

永井 忠五郎
宮武 武平

給四級俸

阪口 正則

任海軍書記

給月俸六十圓

(各通)

任海軍技手

營林署技手 福見 一真
森林主事 田中 隆夫

給五級俸

任海軍技手

同 福田 浩

給六級俸

同 本城 久光

任海軍技手

同 有路 定雄

給月俸七十圓

(各通)

任海軍技手

同 吉越 大八

給七級俸

通信書記 關谷 貞治

(各通)

同 柴山 喜三郎

同 木原 光太

(各通)

第二十五海軍軍用郵便所員ヲ命ス

通信書記補 鍋木 幸典

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

同 事務員 大竹 十七八

同 佐藤 芳信

第二十八海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

同 矢島 忠司

1922

第二十八海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ判任官待遇トス(以上_{三三}海軍省)

通信事務官 中村 順司

鐵道官 進藤 晋

鐵道官補 峯尾 仙吉

同 吉村 克郎

同 鈴木 源一

同 岩崎 房次

同 滿木 祥人

鐵道手 木戸 末吉

運輸通信省雇 上松 漸

同 庄司 勝三郎

同 枝松 尙志

同 木村 武夫

運輸通信省佛人 菊地 武明

同 瀬上 正

同 吉永 政一

同 藤本 政文

同 同

三浦 正夫
橋本 良作
千葉 謙一
栗田 辰吉
飯川 他吉
鈴木 金次郎
赤井 務
佐藤 與吉
中山 正治
平山 一重
宮本 政一
遠藤 秀男
小林 固吉
須田 利十郎
寺田 良一
大橋 銀次郎
中村 市五郎
寺島 正男
村田 利一
青山 吾一
間宮 隆司

海軍公報(部内限) 第四千六百八十號 昭和十九年五月四日

六四五

1923

海軍公報(部内限) 第四千六百八十號 昭和十九年五月四日

同 同

遠藤 安孫子 岡村 朴本 稻元 山田 喜多 佐藤 齋藤 鶴田 佐藤 安田 諸根 光山 大島 湖山 綾本 山梨 木下 金田 鈴木
嘉一 新助 文人 權錫 德久 敏夫 信治 格治 源次 半三郎 貞藏 重紘 鶴雄 永尉 春吉 秀仁 甲戌 用守 三郎 海徳 好康

同 同

金野 住安 宇鳴 桶鄭 坂鈴 山李 松岡 岡相 近岩 野米 鈴木 坂
庚田 作基 佐原 川本 木本 岡岡 島藤 藤崎 澤山 木西
玉伊 次業 美己 政治 文變 太郎 政義 三郎 春植 相景 正夫 保昭 末高 辰吉 金一 森之助 利雄 武雄

1927

六四九

同 同

宮本 錦 幸
丹 禹 斗 範
小 林 幸 吉
安 田 鋪 滿
松 下 弘
深 谷 源 次 郎
新 井 幸 雄
山 本 備
松 田 藤 吉
伊 藤 嘉 郎
金 益 成
上 林 祥 一
長 谷 川 政 一
金 海 威 信
笠 原 計 榮
山 下 浦 俊
吉 井 友 明
片 岡 千 代 松
武 村 萬 戶
成 田 良 吉
辻 寅 吉

同 同

芝 野 金 藏
岸 田 勇
原 政 章
小 島 仁 吉
鈴 木 文 助
岡 信 太 郎
松 永 政 男
小 野 勘 藏
本 多 義 光
稻 村 二 十 二
伊 井 千 代 藏
田 原 喜 三 郎
小 山 正 三
石 田 伊 三 郎
朴 允 吉
金 山 肇 出
白 樂 變
草 野 助 三
宋 玉 錫
慶 季 出
菊 池 福 松

運輸通信省備人 金城 順柄
 同 神農 仙吉
 同 高本 川永
 同 小林 孝二
 同 伊藤 邦盛
 同 小村 俊一
 同 樋口 源七
 同 海軍軍醫大佐 横倉 誠次郎
 同 島崎 貞
 同 結城 準
 同 吉田 武尙
 同 福本 正榮
 同 海軍軍醫中佐 村越 義雄
 同 野中 彌六
 同 小川 義男
 同 石川 鐵三郎
 同 門倉 桃太郎
 同 湯淺 達三
 同 守屋 一男
 同 渡辺 太吉

(各通)

同 宇佐美 正夫
 同 土屋 汎
 同 加藤 五郎
 同 杉岡 直登
 同 田中 強
 同 沢 義道
 同 及川 壹
 同 足立 恒三
 同 嶺崎 巖
 同 小河 九一郎
 同 只植 強
 同 大野 憲吉
 同 生沼 金夫
 同 原 英道
 同 中森 義郎
 同 太田 秀夫
 同 松岡 知之
 同 戸田 弘一
 同 佐々木 宏
 同 角田 正三
 同 相馬 愛次郎

1930

同	榎村 實	同	福田 浩
同	塩入 綾夫	同	本城 久光
同	東間 重倫	同	有路 定雄
海軍軍醫大尉	海輪 博太郎	同	吉越 大八
同	横堀 榮	同	同
同	鎌谷 精	同	永井 忠五郎
同	佐々 學	同	宮武 武平
同	古屋 曉一	同	同
同	堀 昌雄	臺灣總督府專賣局 同	田中 三省
同	堀江 健吉	同	新垣 顯昌
海軍軍醫中尉	伊藤 信義	海南警備府附ヲ免ス (以上五〇同)	海軍 同
海軍藥劑少佐	中野 勇	依願免本官 (以上五〇同)	海軍 同
昭和十九年五月一日乃至五月十二日施行ノ海軍軍醫、 藥劑、齒科醫見習尉官及海軍依託生徒採用試験臨時 委員ヲ命ス		海軍主計兵曹長	岡村 勇
海軍練習聯合航空總司令部附ヲ命ス (以上四〇同)	海軍書記 大野 六之丞	第一課勤務ヲ命ス (四〇同海軍省人事局)	海軍主計中佐 吉岡 清作
同	坂口 正則	第四課勤務ヲ命ス (五〇同海軍省經理局)	海軍主計中佐 大久保 謙吉
マカツサル研究所附ヲ命ス	海軍接手 福見 一真	第一百海軍經理部ベナン支部ニ要スル給與及其ノ他 ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス	
同	田中 隆夫		

海軍公報(部内限) 第四千六百八十號 昭和十九年五月四日

1931

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上^{海軍省}海軍省經理局長)

○雜款

○試驗問題發送

普通科^{細理術}特技章付與第三回詮衡試驗問題

(試驗施行期日六月^{十四日}十五日(水))

右四月十七日左記ノ通發送濟

記

- 一 聯合試驗參加不能ト認メラルル所轄ヘハ直送
- 二 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部長及各警備府副官宛送付
- 三 行動變更其ノ他ノ都合ニヨリ臨時必要ノ分トシテ若干部數各海軍人事部長及各警備府副官宛送付シ置ケリ

未着若ハ臨時必要ヲ生ジタル向ハ最寄ノ右諸官ヨリ受領スルカ又ハ直接本校ニ請求相成度

(海軍經理學校)

普通科整備術章付與第三回詮衡試驗問題

右四月二十五日左記ノ通發送濟、未着又ハ必要ノ向ハ各海軍人事部長當司令部ニ通知相成度

記

- 一 單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送
- 二 聯合試驗問題ハ各海軍人事部長宛送付
- 三 聯合試驗參加豫定ニシテ豫定變更等ノ爲參加不能ノ向ニ對スル分トシテ若干部前記宛送付シ置ケリ

(第十八聯合航空隊司令部)

○開廳

一時臨時魚雷艇訓練所ハ五月一日長崎縣東彼杵郡川棚村小串ニ開廳教育訓練ヲ實施ス

(入廳順路 大村線川棚驛ニテ下車西方約四軒)

二 魚雷艇講習員ノ教育訓練ハ六月上旬迄(魚雷艇訓練所完成後同地ニ移轉迄)從前通海軍水雷學校ニ於テ實施ス
追テ關係書類ハ各々海軍水雷學校及同訓練所宛直接送付相成度

(海軍水雷學校)

○事務開始

築城海軍航空隊富高分遣隊ハ三月十五日宮崎縣富高航空基地内ニ於テ事務ヲ開始セリ

築城海軍航空隊ハ四月十五日福岡縣築上郡築城村同隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○本日普通公報發行セズ

1932

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第四千六百八十二號

昭和十九年五月五日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房人機密第一〇八四號

昭和十八年六月一日以前ニ任用又ハ見習尉官ニ採用セラレタル現役期間特別ノ軍醫科、藥劑科、主計科及齒科醫科ノ士官ニシテ海軍武官服役令第八條第一項ノ規定ニ依ル現役ニ服スルコトヲ志願スルモノハ昭和二年達第五百十三號ノ規定ニ拘ラズ同達ニ定ムル様式ニ依リ本年七月十五日迄ニ順序ヲ經テ願出ヅベシ
現ニ服役延期中ノ者其ノ他藝ニ前項ノ現役志願ヲ許可セラレザリシ者モ亦出願スルコトヲ得
所轄長ハ作戦行動等ノ關係ニ因リ右志願書類ガ所定期日迄ニ到達セザル虞アル場合等ニ於テハ直接海軍省人事局長ニ志願者ノ官氏名ヲ電報スルト共ニ所屬長官ニ其ノ旨報告スベシ

昭和十九年五月四日

海軍大臣

○通 牒

水機密第一六三一號

昭和十九年四月二十四日

水路部長

關係各廳長殿

秘密陸圖處分ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ發行廳長タル參謀總長ニ通牒ノ要有之海軍機密書類取扱規則第四十一條、第四十二條ノ規定及水路圖誌及航空圖誌經理規程第十三條、第十四條ノ規定ニ依リ處理ノコトニ取計相成度

○辭 令

○昭和十九年一月十四日

伊藤 吉造

任海軍技手
給三級俸

海軍公報(部内限)第四千六百八十一號

昭和十九年五月五日

六五五

1933

依願免本官(以上同)

渡邊健太郎
平田實
赤澤次郎
中野重志
伊藤忠夫
大下繁樹
福田正
己斐一郎
椋田滿
木下一
藤岡勝
松澤銀藏
村高鳥男
堀山康人
新井義人
西岡仁美
吉田茂
米岡茂
早杉義夫

第一〇八一海軍航空隊 第十三期飛行
第三〇二海軍航空隊 專修機備學生
第一五三海軍航空隊 同
第一五一海軍航空隊 同
同 同
第三〇二海軍航空隊 同
第二二航空戰隊司令部 同
第一二二海軍航空隊 同
第七六二海軍航空隊 同
各頭書ノ應ニ配屬ヲ命ス(以上同)
第六〇一海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス(同)
佐伯海軍航空隊 第七期整備專
館山海軍航空隊 科機備學生
高雄警備府 第七期整備專
父島海軍航空隊 修機備學生
第六五三海軍航空隊 同
佐世保海軍航空隊 同
第三特別根據地隊司令部 同
第七五三海軍航空隊 同
井野繁次
石黒重雄
中野政雄
中島茂
國本一男
松林茂
戎谷弘之
茂木作榮
鈴木欣二
美根和多利
大沼正
熊井義郎
内藤輝之
小塚晋
大矢弦二郎
鶴梶清
深澤玄知郎
米田實

1935

第四五三海軍航空隊	第七期整備專 修準備學生	今村 文夫
第九〇一海軍航空隊	同	中村 一夫
串本海軍航空隊	同	八卷 淑博
沖繩海軍航空隊	同	木村 茂之
第七〇一海軍航空隊	同	星 貞男
第七五五海軍航空隊	同	吉田 祐次朗
第七三二海軍航空隊	同	堀川 浩俊
第八五二海軍航空隊	同	小岩井 宗弘
第四五二海軍航空隊	同	松岡 秋平
第八〇一海軍航空隊	同	吉田 光寛
大湊海軍航空隊	同	本田 僭二
第五特別根據地隊司令部	同	金原 廣
鎮海海軍航空隊	同	藤田 徹夫
第七五二海軍航空隊	同	山中 裕之助
第七五一海軍航空隊	同	松村 博夫
第九〇二海軍航空隊	同	徳丸 峻二
各頭書ノ應ニ配屬ヲ命ス	同	
依願免本官(以上同)	海軍書記	高木 錫次郎
南西方面海軍民政府附ヲ命ス	第八海軍建設 部附海軍書記	福原 賢一

ボルネオ民政部附ヲ命ス	同	中臺 俊吉
セレベス民政部附ヲ命ス	同	石橋 重藏
(各通)	第四海軍施設 部附海軍技手	水川 真太郎
第二百五設營隊附ヲ命ス	同	伊藤 七藏
(各通)	同	大塚 孝之助
第二百十四設營隊附ヲ命ス	同	楠 憲了
(各通)	同	佐野 米作
同	同	朝尾 力
第八海軍軍需部附ヲ免シ第四海軍軍需部附ヲ命ス	南洋應技師	後藤 遠夫
同	遞信手	山根 準三
同	同	北森 寅長
同	線路工員	中村 理一
同	同	垣淵 芳雄
同	同	徳田 鶴一
同	同	上田 壹郎

1936

(各通)

同 阿部 虎男
同 福本 辰巳
同 小西 義雄

同 藤原 久雄
同 遠藤 勇三
同 安田 清太郎

同 高田 俊夫
同 佐藤 隆四郎

同 岩 城 巖
同 岸本 公仁

同 木下 徳松
同 湊 正男

同 小島 千二郎
同 柏木 武漬

横須賀鎮守府附ヲ免シ第四艦隊司令部附ヲ免ス(以上同)

(各通)

第一課勤務ヲ命ス(三三)海軍省軍務局) 海軍主計中尉 榎内 一彦

第三課勤務ヲ命ス(三六)海軍省兵備局) 海軍主計大尉 佐藤 武八

第二〇七設營隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ

爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(三三)支出官 海軍省經理局長)

海軍主計少尉 窪添 龍輝
驅逐艦若葉ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中尉 石川 昌
右同分任出納官吏ヲ免ス(以上同)

海軍技手 加藤 勝次
交通船第一天海ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(三三)同)

海軍主計少佐 松下 通雄
第三課勤務ヲ命ス(三六)海軍省軍需局)

海軍技師 福田 秀夫
第二部第六課兼第二部第八課勤務ヲ命ス(三六)施設本部)

海軍技手 片桐 準一
第一部第三課勤務ヲ命ス(三三)同)

海軍技術少佐 菱田 英三
第一部第三課勤務ヲ命ス

海軍技師 坂田 正登
第二部第六課兼第八課勤務ヲ命ス(三三)同)

海軍公報(部内限)第四千八百八十一號

昭和十九年五月五日

六五九

1937

第二部第八課兼第六課勤務ヲ命ス(部内同)
海軍技師 小松 雅彦

第一部第三課勤務ヲ命ス(部内同)
海軍技術大尉 相馬 富次男

○ 雜 款

○十版内令提要追録第十四號五月三日發送濟ニ付受領ノ上ハ速ニ加除整理ヲ施行シ受領票至急送付アリタシ
(海 軍 省 副 官)

○人事書類發送ニ關スル件
當方面諸施設激増ニ伴ヒ補充人員ヲ一時司令部附トシテ轉勤發令セラルル關係上人事關係書類ヲ單ニ當艦隊司令部附トシテ送付セラルル向多ク事務處理上不便不勘ニ付爾後何何豫定者ト記入送付ノコトニ取計ヲ得度
(第三南遣艦隊司令部)

○轉勤者赴任順路

- 當隊轉勤者ハ自今左ニ依ラレ度
- 一 東京横須賀方面ヨリ
- 東海道線名古屋驛乗換、關西本線龜山驛木津驛經由
- 奈良驛乗換ニテ櫻井線丹波市驛下車
- 一 佐世保、吳方面ヨリ

東海道線京都驛乗換、櫻井線丹波市驛下車
(三重海軍航空隊奈良分遣隊)

○事務所撤去
第十九號海防艦裝具事務所ハ四月二十八日之ヲ撤去セリ

○正誤
四月二十四日公報(部内限) 第四千六百七十三號五九七頁辭令中「海軍艦政本部附海軍書記大木史郎」以下三名ノ「海軍電波本部勤務」ハ「海軍電波本部附」ノ誤

1938

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千六百八十二號

昭和十九年五月六日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房人機密第一〇六二號

本年五月一日現在第八海軍建設部職員タル者ハ特ニ發
令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ第四南遣艦
隊司令部附ニ補命セラレタル義ト心得ベシ

昭和十九年五月一日

海軍大臣

官房經機密第五九二號

昭和十七年官房機密第二五二四號中左ノ通改正ス
昭和十九年五月四日

海軍大臣

別表ヲ別表ノ如ク改ム

本令ハ昭和十九年五月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(別表添)

(参照) 海軍機密會計法規類集一三〇ノ三〇頁

官房經機密第五九四號

當分ノ間特設船舶警戒部ニ勤務スル軍人軍屬ニハ海軍
給與令第七十九條ノ二第二號、第八十條第四號、第八
十一條乃至第八十三條、第八十五條及第八十七條並ニ
昭和十八年官房需第一八八號ノ規定ヲ準用ス

昭和十九年五月五日

海軍大臣

官房需第一二一號

當分ノ間左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ新兵増加食ヲ
給スルコトヲ得

昭和十九年五月五日

海軍大臣

一 充員召集ノ補充兵又ハ國民兵ニシテ新兵教育相當
期間中

二 各科練習生候補者タルベキ新兵ニシテ海兵團ニ入
團セシムルコトナク又ハ海兵團ニ入團後直ニ當該術
科學校ニ入校セシメタルモノニ對シ新兵教育期間中

海軍公報(部内限) 第四千六百八十二號

昭和十九年五月六日

六六一

1939

○ 通 牒

官房機密第一三四號ノ五

昭和十九年五月一日

海軍省 副官

關係各廳長殿

暗號圖書配給及處分ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ別ニ特令セラルルモノヲ除キ別冊

暗號圖書現狀表第二七號ニ依リ處理相成度

（別冊ハ所要ノ向ニノミ配付ス）

○ 辭 令

○昭和十九年五月一日

（各通）

内務屬 飯村 二郎
同 森 義 信

兼任海軍書記

（各通）

海軍書記 飯村 二郎
同 森 義 信

横須賀海軍施設部勤務ヲ命ス（以上ニ同海軍省）

佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス

第百三海軍施設部附海軍技手

浦田 忠喜

吳海軍施設部勤務ヲ命ス

第百二海軍施設部附海軍技手

春藤 三吉

第八海軍施設部附海軍技手

白坂 幸三

高雄海軍施設部勤務ヲ命ス

第二百四設警隊附海軍技手

梅谷 作造

海軍施設本部附ヲ命ス

（各通）

第百四海軍施設部附海軍技手

富田 敏郎
黒田 吉久

横須賀海軍施設部勤務ヲ命ス

横須賀海軍施設部配屬ス

中村 蓋平

第百三海軍施設部配屬ス

第四海軍施設部配屬ス

西村 英男

横須賀海軍施設部配屬ス

第百二海軍施設部配屬ス

宮地 米三

吳海軍施設部配屬ス

第四海軍施設部配屬ス

大良 美孝

海軍施設本部補給部配屬ス（以上ニ同）

1940

臺中州産業技師 林 四郎
同) 海南海軍特務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(昭和十八年四月廿八日)

横 畑 護

海南海軍特務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(昭和十八年四月廿八日)

武田 久勝

第二南遣艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解キ第二十五海軍建設部事務ヲ囑託ス(待遇如故)(昭和十八年四月廿八日)

三田 壽雄

特設海軍燃料廠補給部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(昭和十八年四月廿八日)

大谷 東平

水路部氣象事務兼海軍氣象部事務ヲ囑託ス(昭和十八年四月廿八日)

鷺塚 誠一

第二十六海軍建設部事務囑託ヲ解ク

鈴木 直巳

海軍省事務囑託ヲ解ク(以上昭和十八年四月廿八日)

角田 仁之助

(各通)

谷 義隆

海軍艦政本部業務囑託ヲ解ク(昭和十八年四月廿八日)

鈴木 隆

國本 靜夫

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク 瀬戸 尙

林 永助

第八海軍建設部醫療業務囑託ヲ解ク(以上昭和十八年四月廿八日)

各) 六百圓 京都帝國大學教授 荒勝 文策

(通) 四百圓 京都帝國大學助教 後藤 廉平

海軍技術研究所研究業務ヲ囑託シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ贈與ス

藤井 榮一

海軍技術研究所研究業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

衛 本 茂

第十一海軍航空廠大分支廠工員寄宿舍事務囑託ヲ解

キ第十二海軍航空廠工員養成所教務ヲ囑託ス(報酬如故)(以上昭和十八年四月廿八日)

三井田 清彌

大湊警備府ニ於ケル事務囑託ヲ解キ室蘭在勤海軍武

官府事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年四月廿八日)

(各通) 貳千貳百參拾圓

林 博

千四百七拾圓

杉浦 保正

海軍省醫務局醫療業務ヲ囑託ス

1941

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

厚生省研究所研究官 館 稔

マカツサル研究所事務ヲ囑託ス(以上同)

田口 貞理

香港海軍運輸部事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

柿木 幹夫

第二十一海軍航空廠ニ於ケル海軍共濟組合醫療業務囑託ヲ解キ第二十二海軍航空廠海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス(報酬如故)

桑波田 節

第二十一海軍航空廠鹿屋支廠海軍共濟組合醫療業務囑託ヲ解キ第二十二海軍航空廠海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス(報酬如故)

飯田 賢太郎

海軍艦政本部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(以上同)

松村 爽

海軍航空技術廠海軍共濟組合醫療業務囑託ヲ解キ津海軍工廠海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス(報酬如故)

吳海軍施設部事務ヲ囑託ス

實崎 順作

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

安西 胞次郎

横須賀海軍航空隊事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

參百圓

貳百圓

(各通)

貳百圓

貳百圓

海軍技術研究所研究業務ヲ囑託ス

沼澤 豊名

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

近藤 厚實

氣象技師 今道 周一

宮本 敏彦

海軍技術研究所研究業務ヲ囑託シ報酬年額四百圓ヲ贈與ス

松岡 義郎

同

石澤 俊雄

水路部地磁氣觀測業務ヲ囑託シ報酬年額百圓ヲ贈與ス

根津 和信

1942

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十九年五月六日(土)
海軍大臣官房

○通牒

海軍功績調査第二〇號ノ三

昭和十九年四月二十日

海軍功績調査部長

關係各廳長殿

海軍雇員傭人及工鑛員功績調査規程中
身分取扱等ニ關スル件申進

首題ノ件左記ニ依リ取扱相成度

記

- 一 判任官ヲ以テ待遇セラルル者ノ功績調査
雇員、工鑛員及之ニ準ズル者ニシテ判任官ヲ以テ待
遇セラルルモノ(部内限ヲ含ム)ノ功績調査ハ海軍
功績調査規程ニ依ル
- 二 海軍部内ニ於テ身分ヲ異ニシ勤務セル者ノ取扱區
分
雇員、傭人及工鑛員功績調査規程ニ於テ「海軍部内

ニ於テ身分ヲ異ニシテ勤務スル」トハ左ノ區分ノ相
互變更ヲ謂ヒ本區分内ニ於ケル職級別ノ變更ハ身分
變更トシテ取扱ハズ

軍人

文官

嘱託

雇員

傭人

工員

鑛員

船員

但シ

(イ) 雇員、傭人、工鑛員相互間ノ身分變更ノ場合
種々ノ都合ニ依リ勤務ノ内容ニ於テ變リナキモ
只名稱ノミヲ變更スル場合ハ身分變更トシテ取
扱ハズ此ノ場合右事由ヲ簡單ニ記載シ置クモノ
トス

海軍公報 (部内限) 號外

1943

(例)

戦地ニ進出ノ爲雇員タル理事生ガ内地歸
還後再ビ元ノ理事生ニ復歸スルコトヲ前
提トシ名義ヲ工員トスルガ如キ場合

(ロ)

昭和十七年十二月八日官房第七三二一號ニ依
リ現ニ使役中ノ常雇人夫ニシテ昭和十七年十二
月十五日限り之ヲ雇員、雇人又ハ工員ニ採用セ
ラレタルモノハ人夫ニ採用セラレタル日ヨリ相
當雇員、雇人、工員タリシモノト見做シ取扱フ
(ハ) 船員ノ雇員、雇人間ノ身分變更ハ特ニ本號ニ
依ル身分變更トシテ取扱ハズ

三

在籍ノ儘召集又ハ戦地所在ノ廳ニ轉雇備セララル
者ノ功績書類ノ取扱區分

右ノ者ハ轉勤者トシテ取扱ヒ功績調査規程第十一條
ノハニ依リ處理スルモノトス

1944

(別表)

(昭和十九年五月六日海軍公報(部内限))

雇員備人航海増給表	
地域	支給額
千島諸島、小笠原諸島 (南鳥島ヲ除ク)、支那	給料ノ十分ノ八但シ月額五十五圓ニ滿タザルモノハ十分ノ十三ヲ超エザル範圍ニ於テ五十五圓迄ヲ支給スルコトヲ得
佛領印度支那	給料ノ十分ノ九但シ月額六十圓ニ滿タザルモノハ十分ノ十四ヲ超エザル範圍ニ於テ六十圓迄ヲ支給スルコトヲ得
其ノ他ノ戦地	給料ノ十分ノ十但シ月額六十五圓ニ滿タザルモノハ十分ノ十六ヲ超エザル範圍ニ於テ六十五圓迄ヲ支給スルコトヲ得

1945

電氣試験所技師 中喜多加造
海軍技術研究所研究業務ヲ囑託シ報酬年額四百圓ヲ贈與ス

大湊海軍經理部事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 村上 忠治

仙臺地方海軍人事部ニ於ケル軍事普及事務囑託ヲ解キ盛岡地方海軍人事部軍事普及事務ヲ囑託ス(報酬如故) 田村 丕顯

舞鶴鎮守府劍道教師ヲ囑託ス 鈴木 清

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス 牟石 貢正

南西方面海軍民政務事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

臺灣總督府港務局技師 吉村 善臣
海軍艦政本部業務ヲ囑託ス

工業試験所技師 淺越 貫一
海軍航空技術廠支廠研究業務ヲ囑託シ報酬年額千五百圓ヲ贈與ス

地方警視 岡田 準之助
伏木在勤海軍武官府業務ヲ囑託ス 警部 大澤 橋次

新潟在勤海軍武官府業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

札幌地方海軍人事部事務囑託 折津 時雄

兼テ大湊警備府業務ヲ囑託ス(待遇如故) 松 森 勇

海軍航空本部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 大山 麟太郎

海軍工機學校教材業務ヲ囑託ス 但シ報酬年額九百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(各通) 増田 貫一
田中 孝一

第百三海軍經理部事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

南東方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解キ軍令部事務ヲ囑託ス(報酬如故) 本田 親喜

德島海軍航空隊齒科治療業務ヲ囑託ス

小坂 夏樹

但シ報酬年額九百六拾圓ヲ給シ部内限奉任官待遇トス

臺北帝國大學助教授兼臺北帝國大學附屬醫學專門部教授

大瀬 貴光

海南警備府業務ヲ囑託シ報酬年額貳千百六拾圓ヲ贈與ス

臺北帝國大學教授
兼臺灣總督府技師

平坂 恭介

(各通)

臺北帝國大學助教授
同 山本 和太郎
川口 四郎

海南海軍特務部業務ヲ囑託ス(以上一五〇同)

海軍主計中佐 袴本 富三

第五課勤務ヲ命ス(三〇〇海軍省經理局)

海軍主計兵曹長 野地 定美

岡山地方海軍人事部國防献金、恤兵金、學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス(四〇〇海軍省經理局長)

永井 泰雄

徵用中自今月額七拾圓ヲ給ス(四〇〇海軍省軍需局)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更

第三十四潜水隊司令ハ四月十日司令潜水艦ヲ呂號第四十二潜水艦ニ變更セリ

第二十二潜水隊司令ハ二月四日司令潜水艦ヲ伊號第八十四潜水艦ニ變更セリ

○試驗問題發送

普通科 機關術
內火術
電機術 特技章附與第三回銓衡試驗問題

右四月二十日左記ノ通發送濟未着又ハ別ニ必要ノ向ハ至急通知相成度

記

一 單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送

二 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部及各警備府宛送付

(聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ豫定變更ノ爲聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ若干送付シヤリ)

(海軍工機學校)

第三回普通科暗號術章付與銓衡試驗問題

第二回普通科電測術章付與銓衡試驗問題

右四月二十四日左記ノ通發送濟未着又ハ別ニ必要ノ向

ハ横須賀海軍通信學校ニ至急通知相成度

記

- 一 單獨試驗施行ノ分 直接各部宛
- 二 聯合試驗用 各人事部長宛
- 三 應急出動艦船用 (横須賀海軍通信學校)

○旅費支給等ニ關スル件

當隊ニ轉勤スル者ニ對シ旅費ヲ前金拂トセララルル向アルモ自今現地迄概算拂ノコトニ取計ハレ度 (第五二四海軍航空隊)

○郵便物宛先ノ件

當本部ハ海軍省構内舊教育局跡ニ開應ニ付郵便物ノ不達又ハ遅延防止ノ爲當分ノ間宛先ハ左ニ依ラレ度 東京都麴町區海軍省構内 海軍電波本部宛 (海軍電波本部)

○事務開始

海軍氣象部ハ四月十五日水路部ヨリ分離獨立シ左記ニ於テ事務ヲ開始セリ

一 本部

東京都神田區駿河臺一丁目八番地 (元東京基督女子青年會館) 電話神田 (25) 八七番 一一一八番 一一一九番

二分 室 (豫報關係)

東京都麴町區竹平町二丁目一番地 中央氣象臺構内 電話丸ノ内 (23) (七〇七二番 七〇七二番 五三〇二番 (豫報室)) (海軍氣象部)

○第八護衛船團司令部ハ四月二十九日海防艦佐渡ニ於テ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去

驅逐艦松籠裝員事務所ハ四月二十八日之ヲ撤去セリ

○正誤

三月三十日附海軍公報 (部内限) 辭令欄四三五頁下段四行目「橋本英文」ハ「橋本香一」ノ誤

○本日普通公報發行セス

1948